

こども・若者等への実態調査について

「(仮称)こども計画の策定に向けて、「少子化対策や子育て支援(下記④)」に関するアンケート調査は令和5年度に実施しており、現在、現状や課題の把握を行っている。一方で、「子ども・若者育成支援(下記⑤)」や「子どもの貧困(下記⑥)」に関する調査は未実施である。

そのため、こども・若者等に対して追加で実態調査を実施する。

【こども計画の策定事項】

①こども施策に関する
基本的な方針



②こども施策に関する
重要事項



③こども施策を
推進するための
必要な事項



④ 総合的かつ長期的な
少子化に対処する
ための施策



⑤子ども・若者育成支援
(子ども・若者計画の
策定)



⑥子どもの貧困対策
(市町村計画の策定)



【既に行ったアンケート調査】

	子ども・子育て支援に関する ニーズ調査	少子化・子育てに関する 福井市民意識調査
調査の目的	福井市における子育て支援施設の利用状況や今後の利用希望、子育てに関する意識などを把握するため	結婚、仕事と子育ての両立、子育て支援、少子化、虐待等に関する市民の意識などを把握するため
実施期間	令和6年1月10日～1月30日	令和6年1月10日～1月30日
調査対象	令和5年12月1日現在、福井市に住民登録のある就学前児童の保護者	令和5年12月1日現在、福井市に住民登録があり、令和5年4月1日現在で18歳以上74歳以下の男女
調査地域	福井市全域	福井市全域
標本数	2,000人	2,000人
抽出方法	無作為抽出 (就学前児童の地区人口比率を考慮)	無作為抽出 (男女、年齢の比率を考慮)
調査方法	郵送配布、郵送回収、インターネット回答	郵送配布、郵送回収、インターネット回答
回収結果	配布数 2,000通 回収数 980通 回収率 49.0% ※小数点第2位四捨五入	配布数 2,000通 回収数 719通 回収率 36.0% ※小数点第2位四捨五入

こども・若者等への実態調査の実施

資料4

	こども・若者		保護者
対象者	2,000人 小学校5～6年生 500人 中学生・16～18歳 (高校生相当) 1,500人	2,000人 19～30歳未満	3,000人 小学生の保護者 1,500人 中学生・16～18歳 (高校生相当)の保護者 1,500人
内容	生活習慣 悩みごとや心配ごと 相談相手 居場所 学校生活・学習 ネットへのかかわり 将来について 地域とのかかわりなど	生活習慣 悩みごとや心配ごと 相談相手 居場所 仕事 経済状況※ ネットへの関わり方 健康・性 地域活動への参加 意見反映についてなど	生活習慣 婚姻状況 就労状況 経済状況※ 公的支援の利用状況 こどもとのかかわり 相談相手など

※貧困については、経済状況の回答を基に実態を把握する。

●ひとり親家庭等については、上記調査に加え、児童扶養手当現況届の提出時
に対面にて実態調査も実施する。

【調査の流れ】

